

# RESAS

を分析してみよう

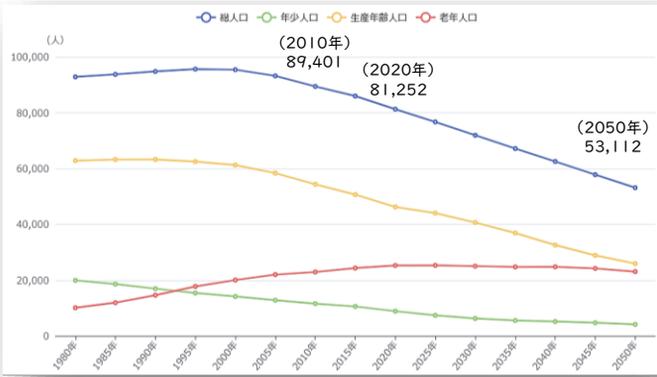
## 山形県 米沢市

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) をグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

## 人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



\*人口マップ→人口構成→人口推移

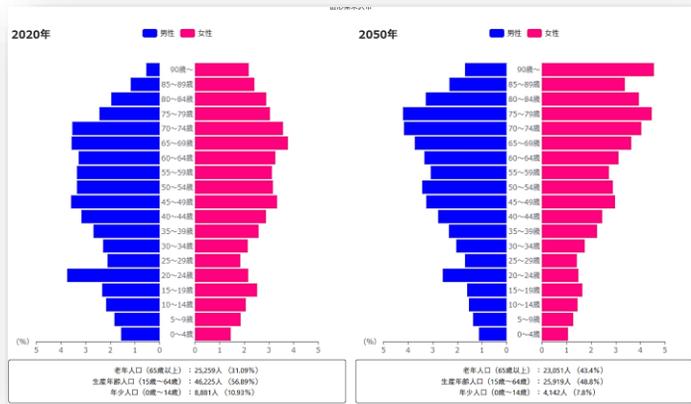
## 年齢別人口推移

2020年の人口は総人口81,252人。10年前(2010年)の89,401人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、一方で老年人口はゆるやかに増加しており、今後老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

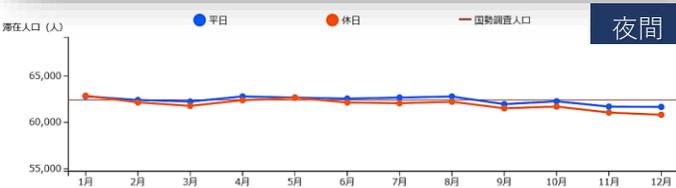
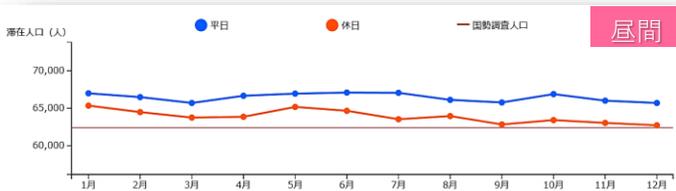
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

## 人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の31.1%から2050年には43.4%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の56.9%から48.8%まで減少する見込みである。



\*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



\*まちづくりマップ→滞在人口率

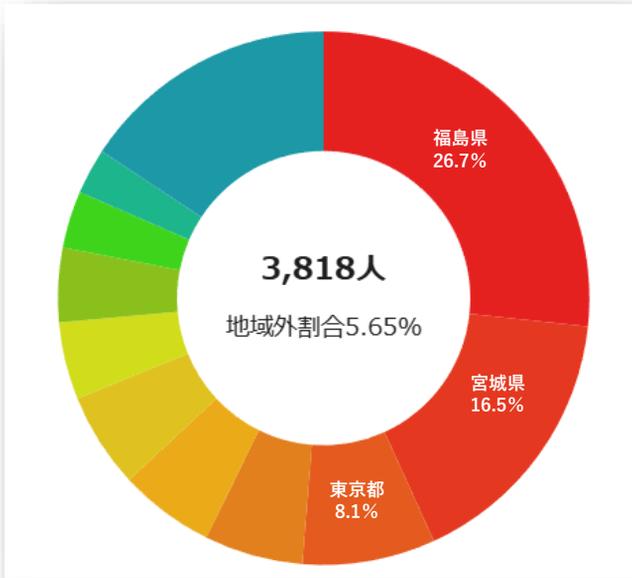
## 滞在人口

(2022年、上：昼間、下：夜間)

携帯電話の位置情報を元に、市内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。平日の人口をみると、夜間人口より、昼間人口の方が多く、市外への流出人口より、市外からの流入人口の方が多くことがわかる。

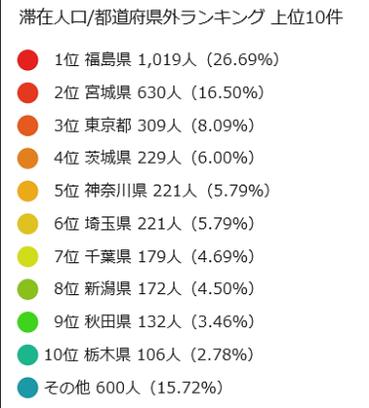
※昼間は14時、夜間は20時のデータ

# 人口



## From-to分析 (滞在人口/都道府県外) (2023年)

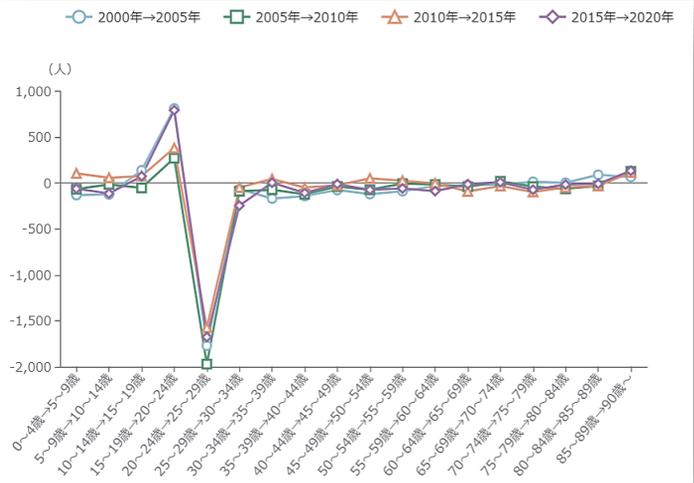
居住都道府県別の平日昼間14時に滞在していた人数の月間平均値を現したグラフである。福島県が26.7%と最も多く、宮城県16.5%、東京都8.09%が続く。



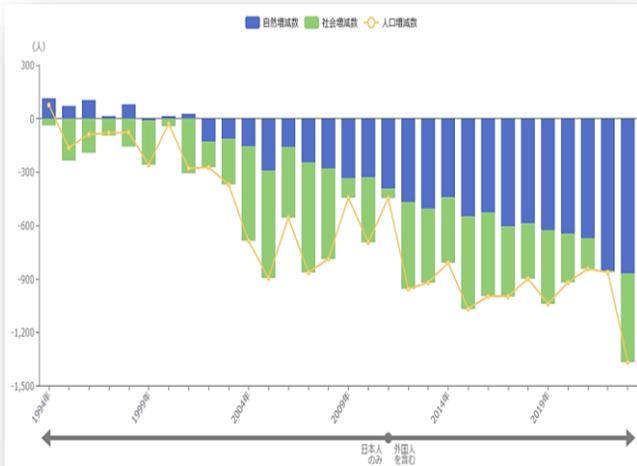
\*まちづくりマップ→From-to分析(滞在人口)

## 年齢階級別純移動数時系列分析

年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時(15~19歳→20~24歳)で人口が大きく流入後、就職時(20~24歳→25~29歳)に大きく市外に流出する傾向にある。その後、年代ごとに増減の波はあるが、大きな流れとしては横ばいの傾向がみられる。



\*まちづくりマップ→From-to分析(滞在人口)



\*人口増減→グラフ

## 自然増減・社会増減の推移

自然増減数(出生数から死亡数を引いた値)と社会増減数(転入者数から転出者数を差し引いた数値)の推移を示したグラフである。近年、社会減、自然減共に増えているため、人口は減り続けている。

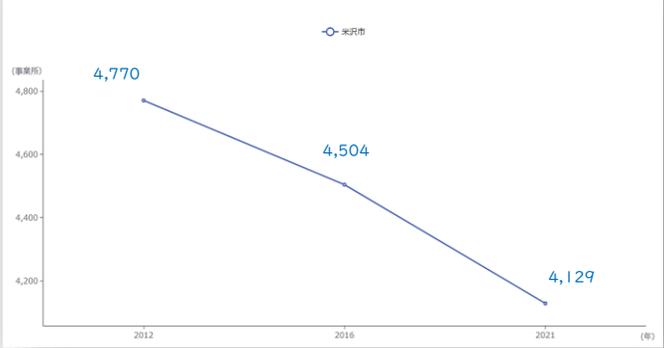
# 産業構造

事業所数(事業所単位): 4,129事業所



\*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

事業所数(事業所単位)  
平べつ(6大分類)



\*産業構造マップ→全産業→事業所数

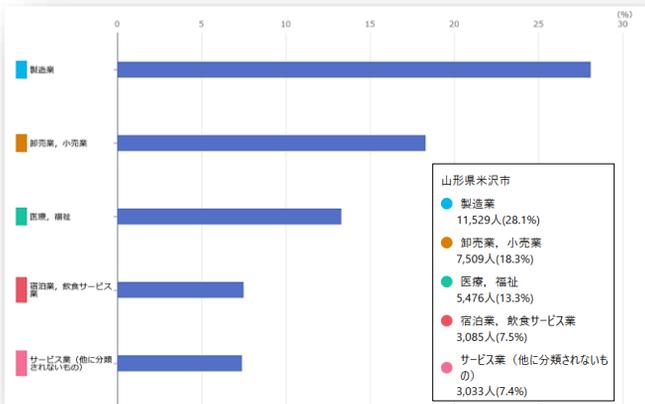
## 事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の950事業所で、全体の23.0%を占めている。その後「宿泊業・飲食サービス業」の477事業所11.6%、「製造業」の444事業所10.8%が続く。

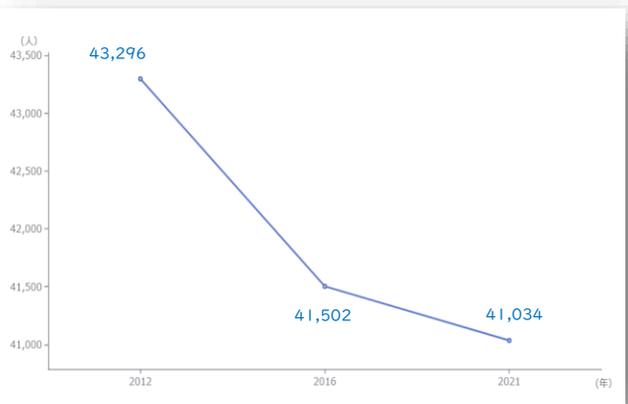
## 事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2021年は4,129事業所。5年前の2016年は4,504事業所だったので、比較すると8.3%減少している。

従業者数(事業所単位): 41,034人



\*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



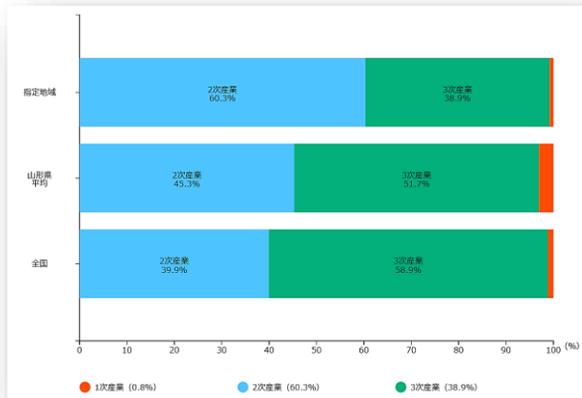
\*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

## 従業者数(2021年)

業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「製造業」の11,529人で、全体の28.1%を占めている。その後「卸売業、小売業」の7,509人18.3%、「医療、福祉」の5,476人13.3%が続く。

## 従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2021年は41,034人、5年前の2016年と比較すると1.1%減少している。



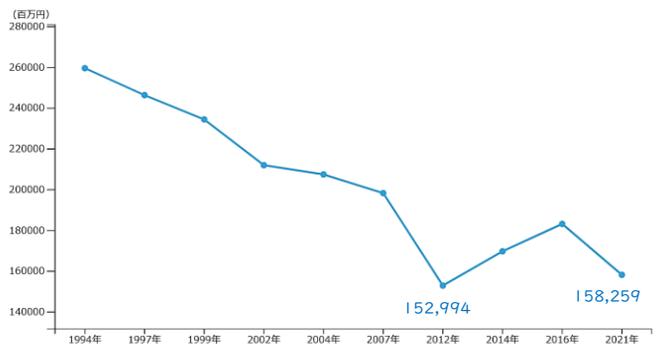
\*地域経済循環マップ→生産分析

## 地域内産業の構成割合(2018年)

米沢市の産業の構成割合を全国および山形県平均と比較したグラフである。2次産業の割合が60.3%であり、全国および山形県平均と比べて高い。一方、3次産業の割合は、38.9%と全国および山形県平均と比べて低い。

- \*1次産業…農業、林業、漁業など
- \*2次産業…製造業、建設業、工業など
- \*3次産業…商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業、外食産業・情報通信産業など

# 小売業・卸売業



\*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

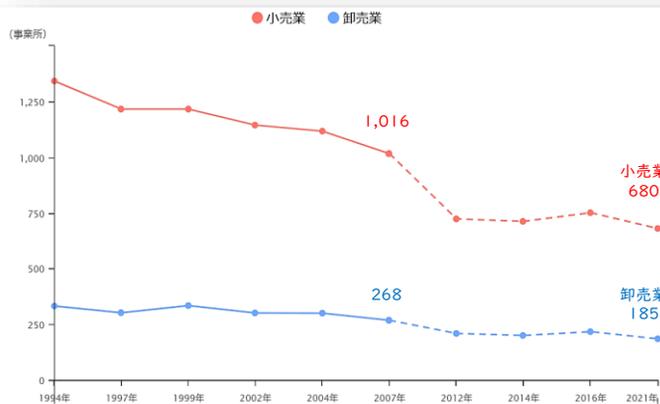
## 年間商品販売額の推移 (2021年)

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。  
2021年の販売額は158,259百万円である。9年前の2012年と比較すると152,994百万円なので、3.4%増である。

## 事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。  
2021年の事業所数は、小売業680事業所、卸売業185事業所である。  
2007年と比較すると、小売業は33.1%減、卸売業は31.0%減となっている。

\*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。



\*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

# 製造業



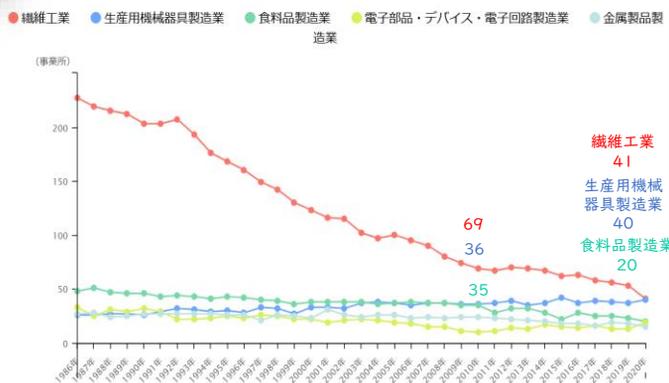
\*産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

## 製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。米沢市の2020年製造品出荷額等は、561,987百万円。  
10年前の2010年と比較すると31.5%減である。

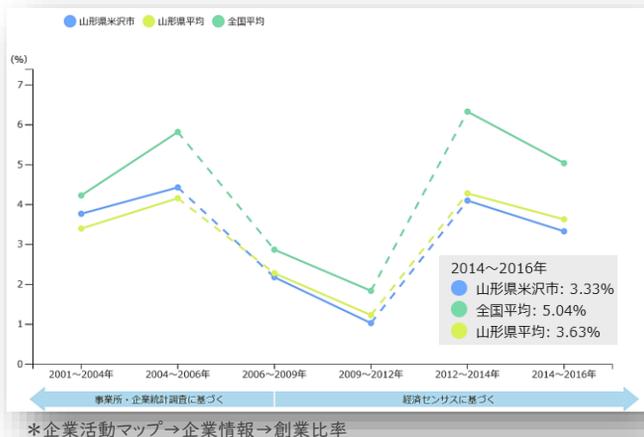
## 事業所数 (主要製造業) の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。  
①繊維工業②生産用機械器具製造業③食品品製造業の順が多い。  
10年前の2010年と比べると、全ての事業所数が減少傾向にある。



\*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

# 創業・企業活動



## 創業比率の推移 (2016年)

米沢市の創業比率推移をみると、2014~2016年の創業比率は3.3%。全国平均の5.0%より低く、山形県平均の3.6%と同程度である。



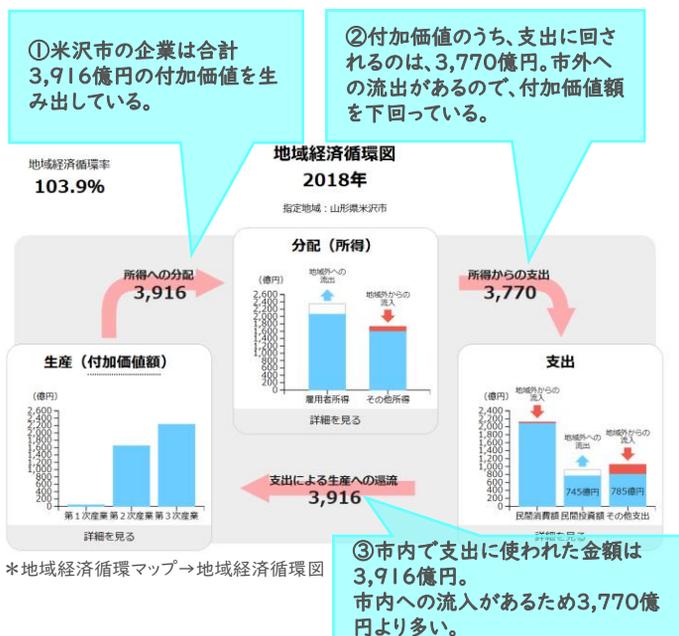
## 黒字赤字企業比率 (2021年)

米沢市の黒字赤字企業比率を示したグラフである。米沢市の黒字企業比率は75.8%で、山形県の平均78.1%、全国平均の78.7%とほぼ変わらない。

# 地域経済循環

## 地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

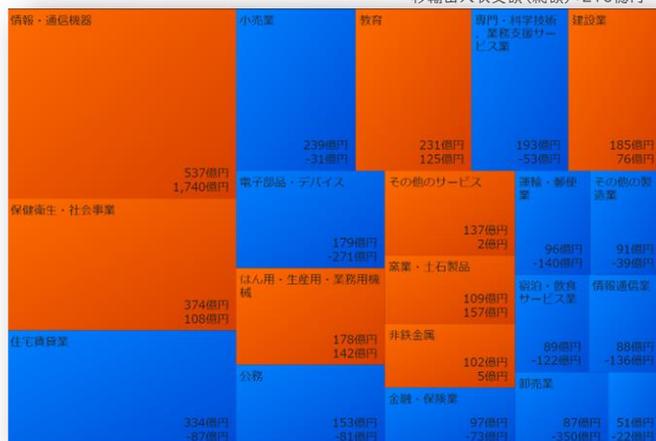


## 生産分析 (2018年)

左図の「生産(付加価値額)」の内訳を面の大き気で示したグラフである。付加価値額が高いのは「情報・通信機器」「保健衛生・社会事業」「住宅賃貸業」である。

なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業(青色)と地域外から必要としているものを調達している産業(赤色)を表している。

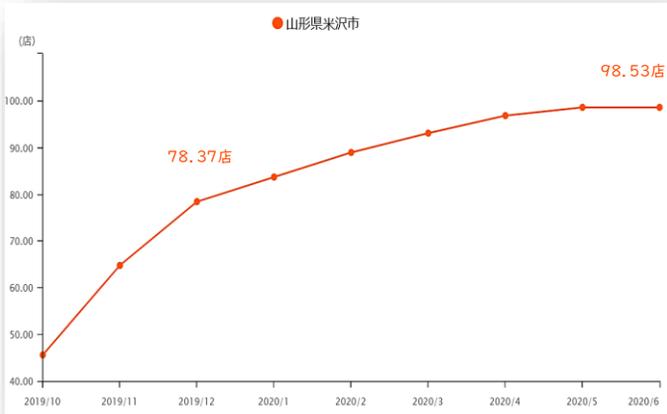
付加価値額(総額): 3,916億円  
 移出入収支額(総額): 216億円



# キャッシュレス

## 人口1万人当たり加盟店数の推移 (2019年10月～2020年6月)

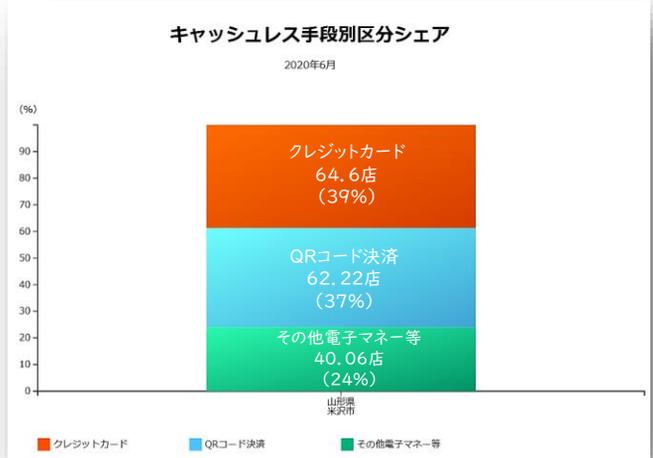
人口1万人当たりのキャッシュレス決済加盟店数の推移を示したグラフである。  
2020年6月の店舗数は98.53店舗である。  
半年前の2019年12月と比較すると78.37店舗なので、25.7%増である。



\*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

## キャッシュレス手段別区分 (2020年6月)

人口1万人当たり加盟店数のキャッシュレス手段別区分を積み上げたグラフである。  
「クレジットカード」が64.6店と最も多く、続いて「QRコード決済」が62.22店、「その他電子マネー等」は40.06店となっている。



\*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

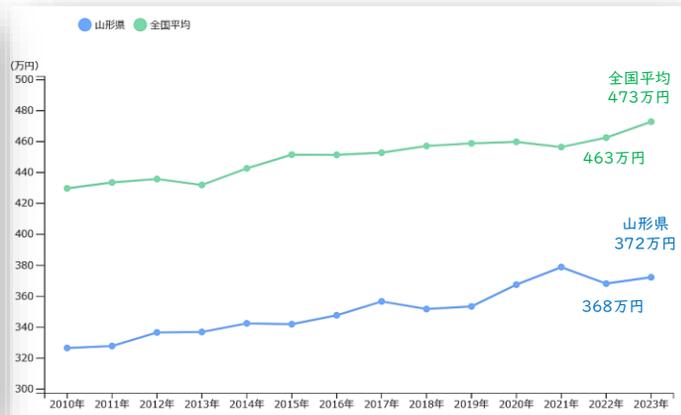
# 雇用



\*産業構造マップ→雇用→求人情報の比較

## 求人情報数の推移 (前年同月比)

米沢市の求人情報数の推移(事業所単位:前年同月比)を示したグラフをみる。2024年3月は、-2.46%と求人情報数は減少している。1年前の2023年3月は、5.61%であり、米沢市内の求人情報は、減少傾向にある。

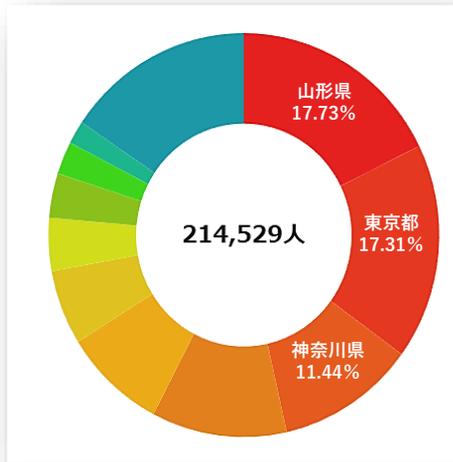


\*産業構造マップ→全産業→一人当たり賃金

## 一人当たり賃金 (2023年)

山形県の一人当たりの賃金を全国平均と比較したグラフである。2023年の山形県は372万円であり、全国平均の473万円と比べて低い。2022年の山形県は368万円なので、1.1%増である。一人当たり賃金の全国順位は43位である。

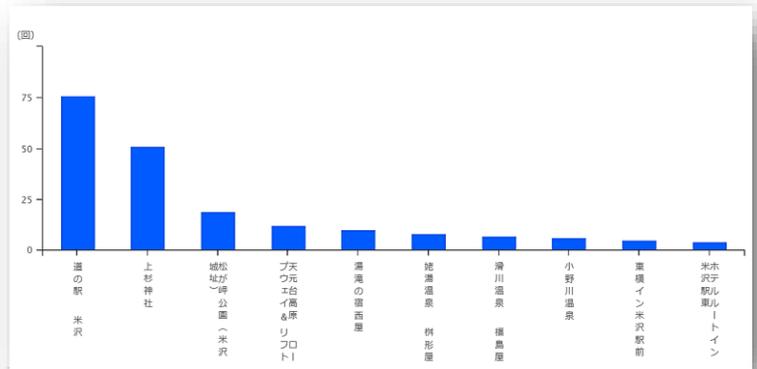
# 観光



\*観光マップ→From-to分析(宿泊者)

## From-to分析 (宿泊者) (2022年)

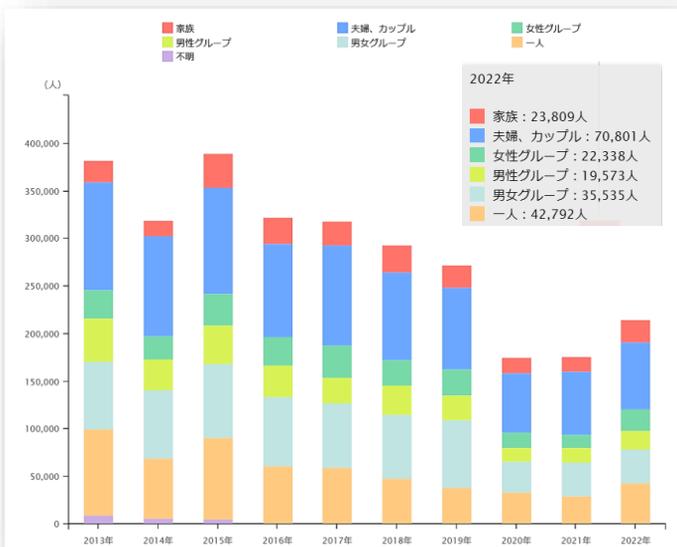
居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合を示したグラフである。山形県が17.7%と最も多く、東京都17.3%、神奈川県11.4%が続く。



\*観光マップ→目的地分析

## 目的地検索ランキング (2023年3月 休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「道の駅米沢」「上杉神社」の検索回数が多い。



\*観光マップ→From-to分析(宿泊者)

## 延べ宿泊者数 (総数) の推移 (2022年)

延べ宿泊者数の推移を形態別にしたグラフである。最も多いのは「夫婦、カップル」の70,801人、その後、「男女グループ」35,535人、「家族」23,809人と続く。

発行: 米沢商工会議所

〒992-0045 山形県米沢市中央4丁目1-30  
 TEL: 0238-21-5111 FAX: 0238-21-5116  
 URL: <http://www.ycci.or.jp/>

